



年 頭 の 辭

新春の旭光を拜して我等は先づ此の海を觀、此の河を視 而して此山を仰いで其所に國運隆昌の工事が營々として進められつゝあるの喜に滿つ。

人事に多少の曲折はありとも、世界人類が向上の爲め努力は一日として休止する事はない。工事は日に月に新に亦新に進み行く。

先輩も之を思ひ、後輩も之を想ひ、相協力して其職分に勵む處に我が工事精神は確立されて行く。然して我等は工事の明朗強化を望むが故に再び叫ぶのだ。

工事を愛せよ！

工事に親しめ！

卽是我等が熱血の言、以て年頭に題す。

皇紀二千五百九十七年元旦

工事畫報社同人